

平野昭さんと 【系譜で読み解くクラシック音楽】



講師

音楽評論家
桐朋学園大学特任教授
静岡文化芸術大学名誉教授

平野昭 Akira Hirano

【ハイブリッド】

丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。ご希望は事前にお伺いします。今後の状況によって【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。

クラシック音楽ア・ラ・カルト、今回は教会音楽と室内楽

交響曲、室内楽、オペラ、ミサ曲等々こうしたジャンルの豊かさもクラシック音楽の大きな魅力です。そしてジャンルの様式と変遷を知ることが、魅力のさらなる再発見につながります。

今回は教会音楽と室内楽にフォーカスします。あまり親しみがないかもしれませんが、音楽史においてきわめて重要で、際立った特徴と魅力にあふれているジャンルです。代表的な作曲家の作品を中心に解説しつつ、知られざる名曲や魅力もご紹介します。クラシック音楽ア・ラ・カルト、と一緒にクラシック音楽の多彩な魅力をより豊かに楽しみましょう。

平野昭

6・11|±
9:30-12:30

教会音楽の系譜 1
J.S.バッハのオルガン曲、
鍵盤音楽の礎 1

クラシック音楽はローマ・カトリックの典礼を原点とし、カトリックだけではなくさまざまなプロテスタントの教会音楽として多彩に発展しました。今回はバロック後期の代表的宗教音楽家J.S.バッハを中心に見ていきます。ドイツ各地の領主に仕えたバッハですが、ヴァイマル(1709～17年)で活躍した時代に多くのオルガン曲が作曲されました。鍵盤音楽の礎ともなったバッハ前半生の教会音楽を読み解きましょう。

7・30|±
9:30-12:30

室内楽の系譜 1
豊かで知的な対話、
四重奏 4

敬虔なる教会音楽に対し、王侯貴族が自分たちで聴いて演奏して楽しむことに始まるのが室内楽です。その代表は弦楽四重奏(カルテット)。私は、何でも表現できる管楽器のないオーケストラ、音楽の極みだと思います。ギリシャの哲学者4人が会話しているかのような豊かで知的な世界が広がります。ハイドン、モーツァルト、シューベルトなど代表的作曲家を中心に四重奏を味わいましょう。

6・25|±
9:30-12:30

教会音楽の系譜 2
カンタータやオラトリオ、
世俗音楽の開花へ 2

バッハはケーテン(1717～23年)に移り宮廷楽長に就きます。宮廷の属するカルヴァン派は教会音楽を重視しておらず音楽が簡素であったゆえに、バッハはこの時代に今日親しまれている多くの世俗音楽(非教会音楽)の傑作を書き上げます。カンタータやオラトリオ、バッハやヘンデルの作品を中心に新たに誕生した音楽ジャンルを楽しみましょう。

8・20|±
9:30-12:30

室内楽の系譜 2
楽器、作曲家、スタイルの
個性と愉しさ 5

三重奏(トリオ)、ピアノ五重奏など室内楽は多彩です。スタイルの変遷、楽器の特徴、作曲家の個性や作曲家どうしの関係性など、鮮やかで楽しい世界が浮き上がってきます。ベートーヴェン、シューマン、メンデルスゾーンなどを中心に魅力を探求しましょう。

7・16|±
9:30-12:30

教会音楽の系譜 3
ルター派バッハのラテン語
作品、ミサ曲とマニフィカト 3

晩年バッハはライプツィヒ(1723～50年)の聖トーマス教会のカントルに就任、ライプツィヒ大学コレギウム・ムジクム指揮者やライプツィヒ市音楽監督も務めます。ルター派の教会カンタータやオラトリオ、受難曲、本来はカトリックの教会音楽であったミサ曲まで、幅広く作曲したバッハから教会音楽の魅力を探索します。

9・3|±
9:30-12:30

室内楽の系譜 3
古典から前衛まで、
室内楽でクラシック音楽史 6

均整のとれたハーモニーから、不協和音をはらむ前衛的響きまで。ドヴォルザーク、チャイコフスキー、ドビュッシー、ラヴェル、バルトーク…個性あふれる代表的作曲家から、ふだん演奏会でとりあげられることのない作品まで。豊かな室内楽を系譜で読み解き味わいましょう。皆さんの新たな音楽の楽しみが見つかるかもしれません。

たくさん聴いて感じましょう

音楽を聴きながら作品や作曲家をご紹介します・解説していきます。どんな曲なのか、どんな特徴があるのか、ご自身で感じて味わい、さらに新たな聞き方や気づき方をもって、楽しみ方を広げましょう。

対話しながら進めます


よくわからない、もっと知りたい、こう感じた、皆さんの素直な感情の動きこそが豊かな鑑賞の一步です。皆さんの感想や疑問を大切に、対話しながら進めます。

講師プロフィール

平野 昭(ひらの あきら)

音楽評論家、桐朋学園大学特任教授、静岡文化芸術大学名誉教授。1949年、横浜生まれ。武蔵野音楽大学大学院音楽学専攻修了。研究領域は西洋音楽史と音楽美学。古典派とロマン派音楽の様式研究を中心とし、特にベートーヴェン研究をライフワークとしている。尚美学園短大助教授、沖縄県立芸術大学教授、静岡文化芸術大学教授、慶應義塾大学教授を歴任、東京藝術大学、国立音楽大学、東京音楽大学等非常勤講師も勤める。音楽評論活動では、毎日新聞、「音楽の友」「レコード芸術」レギュラー執筆。NHKのTVやFMクラシック番組等での解説者としても活躍。日本音楽学会・国際音楽学会・18世紀学会各会員。

開催概要

日程	2022年 6/11、6/25、7/16、7/30、8/20、9/3 (すべて土曜日)
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	9:30-12:30(3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス、オンライン
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・クラシック音楽の奥深さに触れ、魅力を堪能したい方 ・クラシック音楽史や作曲家について研究し、より深く楽しみたい方
申込み	http://www.sekigaku-agera.net/ 

講座の開催方法およびキャンパスにお越しになる皆様へのお願い

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。ただし今後の状況により【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。お申し込みにあたっては、下記開催形態およびキャンパスへお越しになる皆様へのお願いをご確認の上、ご協力のほどよろしくお願いたします。

【ハイブリッド】



ハイブリッド開催とは

- ・丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。

オンライン参加について

- ・オンライン会議システム「Zoom」を使って配信します。
- ・パソコン(またはスマートフォン、タブレット)およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoomを初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

キャンパスにお越しになる皆様へのお願い

- ・事前に体調を確認の上お越しください。発熱、咳などの症状、体調不良、また過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域に訪問歴がある場合はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。

会場の感染予防措置

- ・講師およびスタッフのマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ・教室共用部分の清掃、消毒(机、椅子背もたれ、ドアノブ等)
- ・アルコール消毒液の設置
- ・可能な限り間隔を開けた座席配置
- ・常時空調換気と適宜教室扉の開放換気
- ・喫煙ルームの閉鎖

お問い合わせ 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com



今後の状況によっては対応施策が変更となる場合がございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。